

海外に拠点を構え人脈をつくりあげていく意義、
2006年7月イスラエル空爆下のレバノンからの脱出などに関し、
本学海外拠点JaCMESの池田昭光さん(社会人類学専攻)に
日本一時帰国の機会にお話を伺います。

第4回OFIASブラウンバッグ・フォーラム

レバノン退避時の行動 情報収集と人脈の視点から

池田 昭光 (いけだ あきみつ)

在バイルート中東研究日本センター(JaCMES)

2004年末よりレバノン共和国にて現地調査に従事

日時:平成18年12月13日(水) 12:15~13:15

(質疑応答含む) * 開場 12:00

会場:事務局庁舎(本部管理棟)2階 中会議室

参加費:無料

AA研フィールドサイエンス研究企画センター(FSC)・

国際学術戦略本部(OFIAS)共催



OFIASブラウンバッグフォーラムについて

海外の大学や研究機関では、Brown Bag Lunch Meetingが頻繁に行われています。自分の昼食を茶色の紙袋に入れて集まることから、この名前がついたそうです。ランチタイムは教職員にとっても学生にとっても比較的集まりやすい時間帯であり、カジュアルな雰囲気の中で活発な情報・意見交換が進められています。こうした背景から、今秋より国際学術戦略本部(OFIAS)でも、「OFIASブラウンバッグフォーラム」と題し、昼食の時間帯を利用した語らいの場を開いています。

どなたでも参加できます。昼食をご持参の上皆様のご参集をお待ちしております。

お問い合わせ:国際学術戦略本部 Office for International Academic Strategy (OFIAS)
ofias-office@tufs.ac.jp 内5931

<http://www.tufs.ac.jp/common/is/kenkyu/ofias-j.html>

